

2025年

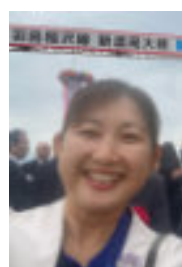
4月

- 2日 広報広聴委員会
- 5日 平和さくらまつり
- 9日 臨時会
- 13日 長岡連区委員会
- 26日 九区公職者会議
- 27日 春の芸術祭



5月

- 6日 尾張大國霊神社例祭
- 7日 墨グアナファト州観光局主催イベント
- 9日 議会報告会準備&ちらし配り
- 10日 祖父江地区まちづくり総会
- 12日 祖父江町保全会長岡地区総会
- 17日 議会報告会
- 19日 創生会政策会合
- 23日 観光協会総会
- 24日 一般県道羽島稲沢線新濃尾大橋開通式
- 29日 経済建設委員協議会
- 30日 議会改革推進特別委員会
広報広聴委員会



6月

- 1日 あじさいまつりオープニングセレモニー
- 2日 議員総会
- 5日 広報広聴委員会
- 8日 伊勢神宮式年遷宮 御神木奉迎送祝行事
- 9日 定例会開会
- 12日 一般質問
- 13日 一般質問
- 15日 消防操法大会
- 16日 一般質問
- 20日 経済建設委員会
- 23日 議会改革推進特別委員会
- 24日 広報広聴委員会
- 25日 定例会閉会
- 28日 児童発達支援センターひまわり開所式



2025年

7月

- 7日 創生会政策会合
- 8日 広報広聴委員会
- 12日 長岡奉賛会解散
稲沢市青少年健全育成市民大会
祖父江虫送り

8月

- 5日 戦没者追悼式
- 6日 創生会政策会合
- 7日 広報広聴委員会
高校生議会傍聴
- 15日 祖父江夏まつり
- 23日 稲沢市議会意見交換会
稲沢夏まつり
- 25日 経済建設委員協議会
- 29日 議会改革推進特別委員会

9月

- 1日 議員総会
- 4日 広報広聴委員会
- 8日 定例会開会
- 11日 一般質問
- 12日 一般質問
- 16日 一般質問
- 22日 経済建設委員会
- 28日 総合防災訓練
- 29日 広報広聴委員会
- 30日 定例会閉会



ときゆうこ

後援会通信

討議資料

Vol. 8

ときゆうこの挑戦

ごあいさつ

私たちの暮らしは、市と地域をつなぐ多数のボランティアの皆さまにより支えられています。例えば、市と住民をつなぐ区長や自治会、地域防災を担う消防団員、福祉で住民を支える民生・児童委員、地域スポーツを担うスポーツ委員、そしてまちづくりなどに関わる各団体の役員や委員などなどです。地域の公共的役割を担う方々の数は私の想像を超えるかもしれません。実に多くの組織が、その何倍もの方々の協力により運営されています。

皆さまの日頃のご尽力に、深く感謝を申し上げます。

一方で、この半年は皆さまの声に触れる機会も多くありました。活動の現状を知り、積極的に振返る機会を得ることができました。

市町村合併から20年。これまでと同じ考え方ややり方で、この先の二十年も運営を続けられるか。いまこそ、そのあり方を見直す時期に来ていると思います。

次代へと時代をつなぐため、最適な地域づくりを進めてまいります。そのために、今できることを一步一步、皆さまと行動し続けてまいりたいと存じます。



令和7年6月8日 20年に1度の伊勢神宮式年遷宮 御神木奉迎送式典は厳かに執り行われました



ときゆうこ後援会
〒495-0033
稲沢市祖父江町四貫東堤外1201-146（みどり団地内）
☎ 090-1750-6763 tokiyuko.official@gmail.com

政策と実績

本市の持続可能な農地利用を目的とし、令和7年9月定例会では「農業者等の協議の場の開催」と「農業に携わる方ごとに農地利用の将来像を示す地図」の二点について現在の状況と今後の方向性を質問したところ以下の点が実施されることになりました。

市に働きかけ実現されたこと

1

質問	現在の状況	今後の方向性
農業者や関係者が協議する場の開催方法は？	いずれも文書による協議。	対面での協議も検討する。



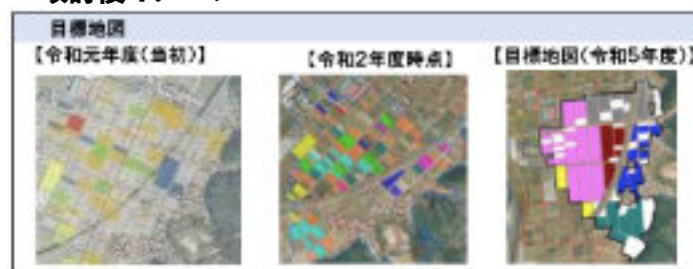
2

質問	現在の状況	今後の方向性
農業に携わる方ごとに農地利用の将来像を示す地図を表示しているか？	農業者が耕作する農用地全体を単色で表示。	農業者を色分けで表示し、改定していく。



現在の地図

改訂後イメージ



農業者及び関係者の協議の場開催実施状況と地図の改定を継続的に確認し、持続可能な地域農業の推進に努めてまいります。

ときゅうこの挑戦

振り返り

市議の任期は四年です。おかげさまで二年経過しました。これまでの議会質問から施策実績を振り返ります。今後も皆さまの声を積極的に市政に届けてまいります。よろしくお願い申し上げます。



・出産・子育て・教育の充実

- ・産後の母子健診を1回から2回に増やしました。（令和6年度より実施）
- ・学校再編に当たっては、地域（校区）の住民が再編を検討する組織に参加することを求めています。（着手令和5年／進行中）
- ・熱中症対策を全小中学校で交通安全対策や災害対策と同じレベルに引き上げました。また、下校時の熱中症対策は見守り隊や地域と連携して行います。（令和7年度より実施）



・多様性を認め合う社会づくり

- ・外国籍の市民がゴミ出しをし易いように情報を整備しました。（令和6年度より実施）
- ・ゴミ出しをする時、支援が必要となる市民もみえます。その市民をサポートする体制づくりを進めています。（着手令和5年／進行中）



・いつもまでも暮らしたいまちに

- ・健全な財政維持のため、事業の積極的な見直しを求めてまいります。（着手令和6年／進行中） 注）合併により現在の稲沢市は平成17年に誕生しました。必要となる公共施設などの整備事業費として、稲沢市には合併特例債の発行が認められました。この特例債は事業費の95%まで借入れができ、毎年支払う返済金の70%を国が普通交付税として戻すというものです。しかし合併特例債は令和7年度に終了します。事業規模の見直しや経費の節約が必要となります。